



清流

平成27年 2月28日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 本田 新

12月定例会



第6回子ども議会（11月25日開催）

条例案件、各会計補正予算、人事案件 外	②～③
そこが知りたいQ&A	④
一般質問4人ここが聞きたい	⑤～⑧
特集 第6回子ども議会 中学生が熱弁	⑨～⑫

国保税の税率等を改正

平成27年4月から

12月
定例会

平成26年第4回定例会は、12月5日に開会し、9日まで5日間の審議を行った。

初日には奥名克美町長が火葬場に関する行政報告と町提出案件の提案理由を述べた。

一般質問には4議員が国民健康保険、町道整備計画、情報発信、町長マニフェストの成果等について活発な議論を展開

した。

議案審議では、国民健康保険税率の改正、一般会計補正予算など9議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

甲佐町国民健康保険 税率の一部改正

率等の改正を行うものである。

されている。

した。

甲佐町国民健康保険 条例の一部改正

した。

国民健康保険特別会計の単年度収支は平成17年度以降赤字が続いており、財政調整基金の残高も年々減少し、極めて厳しい状況にある。

町民の健康を守るべき国保が、暮らしや命を脅かすような保険料の負担というのはいけません。

しかしながら、国保の健全な運営をしていくためには、税率の改正もやむを得ないと考え、この条例については賛成する。

今回の改正は、出産育児一時金の額を39万円から40万4千円に増額するもので、産科医療補償制度における掛け金が3万円から1万6千円へ減額となるため、出産育児一時金総額としては42万円据え置きとなる。

として管理運営を行っている。

そのため、平成24年度には国保税率等の改正と一般会計から1億6千万円の法定外繰入れを行った。

財源等については、町が繰入れを広げて、値上げを中止すべきだ。今回の条例改正については反対をする。

賛成10反対1で可決

全会一致で可決

しかしながら、国保特

会の収支バランスの改善が図れず、財政調整基金の残高も減少しつづけて危機的状況となっているため、平成26年度においても1億5千万円の法定外繰り入れを行うとともに、平成27年度以降の保険税

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

賛成意見

中村 幸男 議員

町も大変財政厳しい中、弱い立場の人を助けなければならぬという町長の英断で、2年前に1億6千万円、今回も1億5千万円の繰り出しが予定

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

町も大変財政厳しい中、弱い立場の人を助けなければならぬという町長の英断で、2年前に1億6千万円、今回も1億5千万円の繰り出しが予定

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

町も大変財政厳しい中、弱い立場の人を助けなければならぬという町長の英断で、2年前に1億6千万円、今回も1億5千万円の繰り出しが予定

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

町も大変財政厳しい中、弱い立場の人を助けなければならぬという町長の英断で、2年前に1億6千万円、今回も1億5千万円の繰り出しが予定

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

町も大変財政厳しい中、弱い立場の人を助けなければならぬという町長の英断で、2年前に1億6千万円、今回も1億5千万円の繰り出しが予定

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

また、甲佐町教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。



大きく育てと願う親心



グリーンパル甲佐

グラウンド・ゴルフ場の指定管理者に商工会を指定

現在、安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場は指定管理者制度により甲佐町商工会を指定管理者

現在、安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場は指定管理者制度により甲佐町商工会を指定管理者

現在、安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場は指定管理者制度により甲佐町商工会を指定管理者

現在、安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場は指定管理者制度により甲佐町商工会を指定管理者

現在、安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場は指定管理者制度により甲佐町商工会を指定管理者

現在、安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場は指定管理者制度により甲佐町商工会を指定管理者

1億5千万円 法定外繰出し

一般会計から国民健康保険特別会計へ

一般会計補正予算

平成26年度一般会計補正予算は、既定予算63億1777万9千円に2億1820万4千円を追加し、総額65億3598万3千円と定める予算を全会一致で可決した。

積み立てるもので、既定予算17億8436万9千円に1億4983万6千円を増額し、予算総額19億3420万5千円と定める予算を、全会一致で可決した。

介護保険特別会計補正予算

今回の補正は成年後見制度後見人報酬17万円と職員人件費の調整に係るもので既定予算14億1597万6千円に50万8千

主なものとしては、
国保特会への繰出金
1億5034万6千円
定住促進住宅施設整備基金積立金
4370万円

教科書改訂に伴う消耗品
1167万6千円

国民健康保険特別会計補正予算

今回の補正は、一般会計からの繰出金を受入れて基金に1億5千万円を



新たな教材（デジタル教科書・電子黒板）を活用した授業（甲佐小4年・理科）

円を増額し、予算総額14億1648万4千円と定める予算を、全会一致で可決した。

甲佐町教育委員会委員に
鎌田桂一郎さん（再任）



くわ た けいいちろう 桂一郎さん

甲佐町教育委員会委員の鎌田桂一郎さん（西原）が平成26年12月21日に任期満了となることから、引き続き任命することを全会一致で同意した。

その他に

専決処分の報告

衆議院議員総選挙の実施に必要な予算の補正。

上益城広域連合規約の一部変更

広域連合の規約の中で現存しない組織「熊本中

央広域市町村圏協議会」を削除。

甲佐町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、職員の給与の改正。

甲佐町土地開発公社の解散

土地開発公社による公共用地の先行取得の利点が薄まったため、同公社を解散。等の議案が審議され、全会一致で可決した。

請 願

「農協改革」に関する請願書

※請願者※

上益城農業協同組合

代表理事組合長 藤木眞也

※紹介議員※

緒方 哲哉

※採決※

全会一致で採択

国に意見書を提出

※法定外繰出しとは※
国民健康保険は、加入者の保険税、国費、県費、町費等により運営している。
町費の額については、法の規定により繰り入れを行うが、それ以外に、町独自の判断で一般会計から国保特会に繰り入れることを言う。

12月定例会
質疑から

そこが知りたい Q&A

陣ノ内館遺跡の調査結果

Q 陣ノ内館発掘調査について指定寄附があつているが、現在までの調査結果また今後の計画は。

A 陣ノ内館は、昭和55年2月に町の文化財に指定された。平成元年4月に町文化財保護委員による調査、平成14年度から16年度にかけて町が主体となり発掘調査を行い石列等の遺構が出土した。平成20年度から5カ



陣ノ内館発掘調査

年計画で文化庁の補助、寄附金等で調査を行った。平成20年度石列の遺構の続きを確認、21年度に南側で堀を新たに確認、22年度は土塁上で下敷きの遺構が出土、23年度には空堀の南側斜面で堀の延長を確認した。25年度

である程度の調査が終了したので26年度は調査報告書作成に取り組み、27年3月報告書が完了する。今後の計画については、報告書を基に文化財保護委員と協議しながら検討したい。

法人町民税の増額補正

Q 景気が低迷している中で、法人町民税が増額補正されているが理由は。

A 法人町民税は景気に左右される税であるため、税収入の見込みがなかなか難しい。当初予算では税収入を若干低めで額を計上しているのがこのような結果になった。

甲佐町土地開発公社の解散

Q 近年公社の事業実績がないといふことで解散するといわれるが、土地の先行取得をする必要が生じたときはどうするか。

A 先行取得をする必要がでたときは、一般会計予算もしくは特別会計を設けて取得する。



給食センターでの食器洗浄

給食センターの光熱水費

Q 学校給食センターの光熱水費に160万円増額補正されているがなぜか。

A 消費税と電気料金の値上げがあつている。また食器類の洗浄で今まではお湯につけ置き洗いをしてから洗浄機で洗っていたが、食器も5年経過して汚れが落ちにくくなったため、一工程追加して洗う関係で増額の一因ともなつている。

小学校の需用費

Q 需用費が増額されているが内容説明を。

A 教科書の改訂が4年度に改訂されるので町内4小学校分の需用費である。児童の教科書代は国から無償給与となるが先生の分は町負担となる。教科書代25万円、指導用書代440万円、指導用教材代700万円を見込んでいます。

一般質問

国保税の大幅引き上げの中止を

町長 税率を上げることなしに国保の運営はできない



井芹しま子 議員

問 国保世帯は84%が200万以下の所得である。消費税引き上げ、物価上昇等々くらしは厳しさを増している。町は住民の命と暮らしを守るうえでこれ以上の負担増をすべきではない。

奥名町長

国保財政はこのままいくと年間1億円くらいの赤字であり、税率を上げることなしに運営は出来ない。

問 国保財政悪化の理由に医療費の高騰を挙げているが、一人当たりの医療費は郡内でも一番高い。町民の健康を守る体制そのものの強化を図り、本腰を入れて町民の健康づ

くりに取り組みべきではないか。

奥名町長

医療費の高騰は、町の財政運営を圧迫する非常に大きな要因であり、町としての重点施策である。これまでのアクシヨンプランがこのままでいいのか十分協議をしたい。

教育問題について問う

小学校の部活廃止 学校への司書配置

問 県教委は小学校の部活廃止を打ち出したが、部活の受け皿やコーチの問題など多くの問題をはらんでいる。児童の不利にならないようにすべきだ。町として、どのような対応を考えているのか。

赤星教育長

県教委では小学校の運動部活は社会体育への移行、中学校、高校の部活については社会体育との連携という方針が出されている。

本町においても町の総合型I・YOUSポーツクラブへの連携を模索しながら、将来的には社会体育への移行が必要になるのではないかと考える。

問 国は、学校図書館、図書整備の充実に向け、新たに新聞配備、図書司書配置に交付税措置をすることになった。当然町



社会体育として活動する乙女タイガース

としても司書配置を進めるべきではないか。

赤星教育長

学校図書館法の一部改正により、学校に司書を置くよう努めなければならぬとされ、平成27年4月1日より施行となっている。中学校には平成15年までは配置していたが、今後、どう配置するか考えていきたい。

問 国会で成立した小規模企業振興基本法を活か

住宅リフォーム助成制度で町の活性化を

住宅リフォーム助成制度とは

住民が住宅のリフォームを行った場合、その経費の一部を町が助成し、住宅の改善を容易にすると共に、中小零細事業者の振興を図るものである。

す取り組みを積極的に進めるべきであり、その一つとして、地域に与える経済効果も非常に高い全国で628自治体、県内でも15カ所に広がっている住宅リフォーム助成制度を実施すべきでは。

奥名町長

商工会の「家のことならなんでもん隊」への広報誌でのPRや30万以下の修繕工事に参加できる小規模登録事業や合併浄化槽の町内業者利用でのかさあげ補助など、現在行っている制度を活用して支援をしていきたい。

国保財政は大丈夫か

町長 運営状況は非常に厳しい



西坂 和洋 議員

問 特定健診の受診率が低いと思われるが、近年の状況と受診率向上のためにはどのような対策を考えているのか。

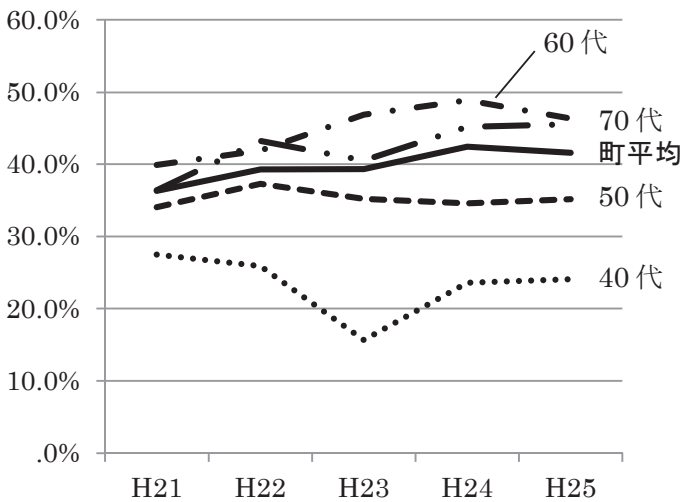
福島住民生活課長

受診率は、40代の方においては、20%台、60代・70代の方で45%と、全体的に低い状況にあるので、受診率の向上に努め、病気の早期発見、重症化予防に努めたい。

甲斐総合保健福祉センター所長

平成25年度から20歳から39歳の方を対象に新たな健診など実施している。

年代別受診率の推移



問 現在、国保財政がひっ迫しているなかで、今後税率の引き上げも検討されているようだが、町の考えを聞きたい。

奥名町長

国保の運営は、基本的には国保事業会計自体での運営が原則であり、国保加入者以外の人との公平性を考えると、安易な一般会計からの法定外繰出しは避けたい。

しかしながら、国保加入者の負担緩和、高齢者や低所得者の人達に対する社会保障の観点、国保会計の健全性を考え、今定例会に保険税の上昇分、それから繰出し分をほぼ均等に積算し、条例改正と補正予算を議案として提案している。

国保財政の運営状況は非常に厳しい。

西原と名越谷間に 林道開設はできないのか

問 事業の採択に必要な4項目の要件のうち条件を満たさないものは何なのか。

鳴瀬産業振興課長

この地域の、森林面積は、23畝であり30畝の面積要件を満たしていない。また、県の森林計画に登載されている必要があるが、面積要件を満たしていないため県への登載依頼ができない。

町道上揚井戸江線の改良工事は

問 町道上揚井戸江線の全線開通により三本松甲佐線のバイパスとなり安全な通行ができるようになるかと考えるが、二本目の橋はいつごろ完成するのか。

第2期として計画しており、二本目の橋梁についても道路整備計画に入っている。橋梁等の着手、完成時期などについて具体的なおことは現時点では何も言えない。

志戸岡建設課長

現在、架けている橋は、平成29年度完成を目指している。

また、小鹿集落までを

奥名町長

橋梁建設は多額の費用がかかる。しかし、道路整備計画の中で、今後の対応を図っていく。

一般質問

待機児童解消 への取り組みは 出生数向上

町長 現行の子育て支援を充実させる



荒田 博 議員

問 待機児童が平成24年度は6人、平成25年度は9人、年度途中からでているが解消に向けた取り組みは。

上村福祉課長

年度途中からの入所希望が増加したため各保育園に受け入れをお願いしている。今後は入所児童の年齢構成も変化し、人数も減少に転じると予想される。

来年度からは子育て新制度の施行により保育所運営費の補助内容も含め制度見直しがあり、その具体策として現在の各保育園の定数が60人から80人に変更して頂くとともに対策を検討したい。



園庭で遊ぶ保育園児

出生数向上対策は

問 現在待機児童の問題があるなかで今後は出生数の減少がみられる。出生数をあげる取組をお尋ねする。

上村福祉課長

町としては、親が安心を持って子どもを生み育てることをできるだけよう様々な子育て支援事業を実施しており、より充実させ定住促進事業や他課との連携を図りながら出生数向上につなげたいと考えている。

奥名町長

本町において人口増対策、特に出生率の向上への取組については重要な課題だと認識を持っていく。このため出生率の向上につながるように、第3子以降の出生時祝い金を平成20年から10万円に増額している。第4子以降の祝い金の増額については、いまのところ検討課題としている。

計画的な道路整備と早期着手を

問 道路5カ年計画の見直しがあり、登載する為の評価基準とそれに伴い登載路線が見直しになっている。引き続き登載され未着手となっている路線の早期着手をお願いしたい。

志戸岡建設課長

町道大町塔ノ木線については一部に測量の同意が取れていない為、着手ができない状況である。

今後も理解を得られるよう協議を進めたい。町道下知行幸野線は他の路線との事業進捗状況により着手が整備期間内にできなかった。整備区間も短くし、要望区間でもあるため登載している。町道の吉田県道線においても同様で事業状況と財政状況により着手できない。

※そのほかにも、行政情報の発信や案内板、町営住宅、学校教育、中山間総合整備事業についても質問があった。



早期着工が望まれる町道 大町塔ノ木線

町長マニフェスト

実施状況と成果は

町長 達成率は81.8%である



中村 幸男 議員

甲佐高校への支援

問 甲佐高校はわが町の財産であり、存続問題が起きてくる前に、何らか打手はないか。

奥名町長

現在、最終的にどういった支援をしていくかの結論までは至っていないが、学校側と協議をしているところで、町は支援しながら今の状況を脱却していきたい。

地区別担当者制度

問 地区別担当者制度のモデル地区で上豊内が新聞にも載り、実績が出ているが今後の実施計画は。

西坂企画課長

来年度は各行政区に2名ずつで、各地区（宮内、甲佐、竜野、白旗、乙女）の地区リーダーを中心に活動を行うこととしている。

緑川を活かしたスポーツフェスティバルと広域交流型観光施設整備

問 緑川を活かした「かわまちづくり」で安津橋上流、グラウンドゴルフ場の活用はどのように考えているのか。

奥名町長

「かわまちづくり」支援事業は、緑川全体を考えていく構想であり、広域交流型の整備、総合グラウンドなど、いろんな交流ができる施設を造り上げていきたい。整備を図ることによって、イベント等を開催し、農産物の販売、子ども達のスポーツを通じた交流

などを行い甲佐町のPRもしていきたい。

特産品開発

問 特産品開発では、今後、甲佐の良さ、甲佐んもの良さをPRしていく課題も残っており、

「ニラ侍」など、商品ではなくても認定するような考えはないのか。

奥名町長

ブランド認定については、どういった考えで今後進めていくのか、委員の皆様と協議していきたい。



小学生が考案したPRキャラクター「ニラ侍」

マニフェスト全体の実施状況は

問 町長はこの2期目のマニフェスト、私は70%から75%ぐらいできていないのではないかとみているが、町長は達成率をどのくらいと見ておられるか。

で掲げた33項目中、実施済み及び現在実施中ものが27項目。実施に向けての検討中が6項目となっている。そういったことから、達成率は81.8%と考えている。

奥名町長

2期目のマニフェスト



県立甲佐高等学校・青垣祭

10代の目線

中学生が熱弁

第6回子ども議会



町の活性化対策

うまいもんめぐりで甲佐町を売り込め



さわ だ たいし 議員 (2年3組)

問 「あゆまつり」やキンモクセイの花が咲く「おもてなし」の時期に、「うまいもんめぐり」などスタンプラリー形式で催しごとをするなどして、甲佐町を売り込めないか。

鳴瀬産業振興課長

ご提案いただきました「スタンプラリー」については、美里町、御船町、山都町との4町連携事業の中で、今年度から実施しているところですが、4町での取り組みですので、甲佐町のイベントの時期に合わせて実施することが難しいというのが現状です。

大型店舗の建設予定は



もりぐち はるか 議員 (3年2組)

問 甲佐町には、昔ながらの商店街がありますが、他の町と比べると大きな店がありません。そこで、甲佐町にも、イオンモールのようなショッピングセンターがあると、町にも活気が生まれるのではないかと。

西坂企画課長

現在のところ大規模店舗の建設予定はありません。

甲佐町は、市街地の中を大井手川が流れており、昔からある商店街の風情は、他の町の人から見ると非常に魅力的なところとなっています。そのような昔からの商店街の活性化を図るために、最近では「蚤の市」のような新しい取り組みも行われ、多くの人が甲佐町を訪れるようになっていきます。

商店街にシャッターアート



ほんだ ななこ 議員 (3年1組)

問 甲佐町の商店街でシャッターがおりているのを見かけます。そこで、シャッターアートなど、人の目を引くようなものを作ると、甲佐町に訪れる人も増えるのではないかと思

ます。今後、そのようなものを作られる予定がありますか？

鳴瀬産業振興課長

現在のところ実施の予定はありません。

今後、「商店街活性化プラン」を策定する予定とされていますので、プランを策定するにあたっては、今回ご提案をいただきました「シャッターアート」についても、会議の中で検討していきたいと考えます。

国際交流

農業を通じた国際交流



おがた じょうじ 議員 (2年2組)

問 農業を通じた国際交流を行うことで、甲佐町の農業を発展させ、甲佐町の人間力を高め、甲佐のブランド力を向上させることで、町民が誇れる取組みになるのではないのでしょうか。

鳴瀬産業振興課長

町では、農業従事者の方などが国

内や海外で農業技術の取得をされる際にかかる経費の一部を助成していただきます。

また、国際的にも食の安全が求められる中、JA経済連が「安全でおいしい」を掲げ、米や牛肉の輸出への取組みを行っているところでです。

国際交流事業の再開予定は



議員 阿也 芳野 (3年3組)

問 甲佐町では平成13年から、中国の柳州市との国際交流が行われていました。PM2.5などの影響で国際交流が中断されています。今後、再開の予定はありますか？

赤星教育長

現在、新たな交流先を台湾に絞り検討を進めています。

また、交流対象者については、継続性や人材育成という観点から、甲佐町の中学生、高校生を主体とした教育交流を考えています。

防犯・交通対策

通学路への信号等の設置



議員 莉緒 藤本 (2年2組)

問 乙女方面から甲佐大橋を渡った先の交差点や、塔の木のセブンイレブン裏は、交通量も多く、車との接触の危険を感じる場面があります。甲佐大橋の所には信号機を、セブンイレブン裏付近に安全性を考えて、ミラーの設置を要望します。

清水くらし安全推進室長

ご質問の要望箇所の交差点には、現在、押しボタン式の信号機が設置してあります。

皆さんが、通学時に交通の危険を感じているとなれば、信号機の改良等が必要ではないかと思いますが、その改良等が必要かどうかの判断は、警察が行うこととなります。

志戸岡建設課長

塔の木のセブンイレブン裏の糸田橋付近交差点には、現在カーブミラーを1基設置していますが、鏡面の大きいものに取り換え、見やすい場所に移設をしたいと思えます。

時間帯通行規制への対応



議員 純平 山下 (2年1組)

問 毎日、甲佐高校の裏を通学しています。その道路は、毎朝7時から8時まで車両進入禁止ですが、その規制を守って下さないドライバーの方がおられます。警察との連携でなにかできることはないか。

清水くらし安全推進室長

交通規制の開始前には、御船警察署と合同で、交通指導や立て看板を設置するなどして、交通規制開始の周知を行いました。

取締りに関しては、警察の分野ですが、町としましても皆さんの通学時の安全確保のため、警察と連携して、当該道路の通行禁止規制の周知に、努めてまいります。

危険を感じる通学路



議員 桜 石原 (1年2組)

問 私たち甲佐中学校の生徒は、約8割の生徒が部活動で頑張っています。

部活動の終了時間は、日没時間を考えて終了し、下校するようになっていますが、今の時期は、暗くなるのが早く、帰宅するときにとても危険を感じる場合があります。

街灯設置についての計画があるのでしょうか。

清水くらし安全推進室長

町が設置する防犯灯については、現在、皆さんの通学道路であります、セブンイレブン糸田から下糸田付近まで設置しており、本年度は、下糸田から下辺場バス停付近までの約1.1キロの区間に23基を設置する予定としております。

田口橋の架け替え計画



議員 愛 岡本 (2年2組)

問 田口橋は、非常に交通量が多く、橋の幅員も狭く、老朽化していて、心配です。

田口橋の耐震性は大丈夫でしょうか

か？この田口橋を新しく作り替える計画はあるのでしょうか。

志戸岡建設課長

県が行いました田口橋の耐震診断、コンクリートの品質試験等の調査結果として、マグニチュード7級の内陸直下型地震に耐えられる。コンクリートの品質についても、十分な強度が確保されている。との報告を受けたところです。

この調査結果を受け、県では現在の橋台、橋脚を活かし、上部工の拡幅が検討されておりますので、町としてもあらゆる機会を捉えて要望を行い一刻も早い事業採択に向けて努力をしてまいります。

防災対策

災害弱者に対するサポート体制



たかさき れんと 議員
(1年1組)

問 防災に対する意識を高めるために、防災マップがあると助かります。また、避難ルートや避難先、備蓄倉庫の場所、高齢者や乳幼児へのサ

ポート体制はどのようなようになっているかを教えて下さい。

くらし安全推進室長

防災マップについては、平成20年に「洪水ハザードマップ」と「地震防災マップ」の2種類を作成し全家庭に配布しております。

避難所につきましては、町内全体で45箇所を指定しており、避難経路につきましては、各地区の防災訓練時に確認を行っております。

また、「避難行動要支援者名簿」を作成しており、災害時には、この名簿に、基づき、安否確認や避難誘導を行うこととしており、西寒野の「桜の丘」を福祉避難所として、昨年協定を締結しております。

美化活動

新たなクリーン作戦の実施



たかさき しゅうき 議員
(2年1組)

問 緑川一斉清掃など、私達中学生も、一生懸命活動しています。そこで、もっと美しい町を目指して、「クリーン作戦」ができないかと考

えています。なにか、計画していることがあれば教えて下さい。

一環境衛生課長

これまでの活動の成果として、河川のごみは減少しておりますが、河川以外の所では、依然として不法投棄が無くならない状況であり、看板やポスターを活用した啓発の取組みを強化していきたいと考えています。

美化活動につきましては、新たな活動を設けるのではなく、現在の取組みの拡充を考えており、「くまもと・みんなの川と海づくりデー一斉美化清掃活動」について、現在は中学生に参加いただいておりますが、来年度は、高校生にも呼びかけるよう計画しております。

スポーツ振興

河川敷を利用したイベント



やまもと りか 議員
(1年1組)

問 安津橋の河川敷で、時折ゲートボールなどをされていますが、更に活気づけるようにするために、いろんなイベントを定期的に行えないか

と思います。なにか、計画していることがあれば、教えて下さい。

西坂企画課長

現在、町では緑川を活かした新たなスポーツイベントの開催に向けて、検討を重ねており、町内外から、また子どもから大人まで誰でも気軽に参加できるようなイベントを安津橋健康広場一帯で開催することを検討しております。

町民グラウンドの整備



いのうえ たくみ 議員
(2年3組)

問 部活動を学校外の施設で活動をする中で、スポーツ振興について考えた時に、町民グラウンドの数が増えると、町をあげての活動も活発になるとは思います。いかがでしょうか？

上田社会教育課長

現在、緑川を活かした施設の整備ということで、安津橋上流に運動施設計画があり、協議会を立ち上げ整備内容について検討しています。

現時点では、既存施設の有効活用と学校体育施設（運動場・体育館）などを最大限に活用しながらスポーツの振興に努めたいと思います。

安心・安全

安心して遊べる場所



さわだ かいと 議員
澤田 海人 (3年3組)

問 幼い弟や妹の面倒を見る友達から、甲佐町では子ども達が安心して遊ぶことができる場所が少ないと聞きます。この甲佐町に、公園や遊具の設置はできないでしょうか？

西坂企画課長

当面は現在設置してある公園や広場の中で、皆さんが工夫し色々な遊びを通して、生きる力を育んでいただきたいと思います。

昔ながらの遊びなど、家の方や地域のお年寄りから教えてもらい、もっと伸び伸びと屋外で活動されることを期待します。

※後日、中学校から参加者全員の感想文をいただきましたが、当日議長を務めていただきましたお二人は一般質問を行っていませんので、感想文（原文のまま）を掲載いたします。

前半 議長



たじま のりか 議長
田島 典伽 (2年1組)

私は、町子ども議会をへて、思ったことがあります。

一つ目は、緊張したことです。奥名町長様や役場の偉い人が来ていらっしゃるのでも心臓がドキドキしました。自分が言うセリフをゆっくり、ハッキリと話しながら気をつけました。

二つ目は、答弁者が「議長」と言って手を挙げるのを指名するとき、相手の目を見て言ったことがとても良かったことです。相手の目を見て話を聞くのは、とてもいいことですが、私は、議長だったので後ろから話を聞くことができませんでした。だから、私は少しでも原稿を讀まずに、人の目を見て名前を言う

後半 議長



みやざき りょう 副議長
宮崎 龍 (2年3組)

ことを頑張りました。この子ども議会で思ったことは、2年生での一つの思い出となりました。このような機会はあまりないと思うのでとても立派な経験ができたとの底から凄く思いました。いい体験になりました。ありがとうございました。

私は、副議長という大役を任せられました。最初はとても大変な仕事だろうと思っていました。しかし、実際にやってみると、一人一人の質問やその質問に対する回答をしっかりと聞くことができる仕事でした。それに、しっかりと話を聞き、議会全体の進行をうまく進められたことはとても良かったと思っています。とても、いい経験になりました。また、今回、僕たちが甲佐町をより活気づけるために考えたことが一つでも町のためになればいいと思っています。どうもありがとうございました。

編集後記

平成23年3月議会から新しい広報委員により「議会だより」を4年間発刊してまいりました。

思えば平成23年3月11日（金）3月議会初日に、あの東日本大震災があり、世の中に大きな変化があるのではと予感させられる出来事から始まりました。

今後、また新しい議員により「清流」が編集され、町民の方々さらさら親しまれることを祈念申し上げます。（A・H）

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本郷 昭宣
- 副委員長 井芹 しま子
- 委員 西坂 和洋
- 委員 福田 謙二
- 委員 荒田 博

※前号151号の議会だよりの中で、「傍聴席から一言」の文中「女性」とすべきところを「情勢」と誤っていました。訂正してお詫びいたします。